



### 寿老人神堂

寿老人神堂は、七福神の一つである寿老人が祀られているお堂です。このお堂の近くには、七福神の石像も祀られています

寿老神のご真言、

「オンバザラユゼイソワカ」を3回唱えると、福寿吉運が授かるそうです。



### 愛染堂。

中には愛染明王像を祀っています



### 鎮宅靈符神堂(ちんたくれいふじんどう)

お守りやお札の元祖の神様だそうです。





庫裏

庫裏は本来僧侶の食事を作る場所ですが、現在は事務所として使われています。白壁とこげ茶色の木組みによるコントラストが印象的な堂宇です。

絵馬は、縦1メートル、横30センチほどの大きさのもので、そこには幼い子どもをおぶった女の子の姿が描かれています。この絵馬にはある悲しい話が残されているのです。

江戸後期の頃、草堂の近所に質屋がありました。この店の主人である八左衛門は、気が短く、強欲でお金のことばかり考える男でした。そのために、周りの人たちからは嫌われ、影では“鬼の八左衛門”と呼ばれていました。

そんな八左衛門にも、子どもが生まれました。そこで商いに忙しい八左衛門は、子守りを付けることにしたのですが、評判の悪い八左衛門のところに来る子守りなど、そうそう見つかりません。そんな時、八左衛門の知り合いが、子守りにと、近江(滋賀県)の百姓の娘を連れてきたのです。

その娘の名前は「ふみ」といい、年齢は10歳。「これをかーちゃんだと思って、さびしくても我慢するんだよ」と、母親からもらった手鏡を持って、知らない町にやって来たのです。

ふみは子どもが好きで、八左衛門の子どももすぐになつきました。子どもがむずがると、近くの草堂から聞こえてくる御詠歌を子守歌代わりに、唄い聞かせていました。子どもも、ふみが唄う御詠歌を聞くと、ニコニコと笑って機嫌が良くなりました。

ところが、八左衛門にとっては、ふみが唄う御詠歌がたまらなく気に入らなかったのです。というのは、八左衛門は熱心な法華信者(日蓮宗)だったからです。草堂は天台宗のお寺ですから、自分の子どもに天台宗の御詠歌を唄って聞かせるなどは、とんでもないことだったのです。

### 悲劇は起きた！

そんなある日のこと。ふみはいつものように、子どもをおんぶして、御詠歌を唄いながら、草堂から帰ってきました。

♪花を見て今は望むも草堂の庭の干草も盛りなるらむ……♪

このふみが唄う御詠歌を耳にした八左衛門は、よほど虫の居所が悪かったのか、頭に血が上って、「こら一つ！ そんな歌、唄うな!!」と大声で叫び、ふみの襟首をつかみ、殴る蹴るの暴行を加えて、恐ろしいことに、ついにふみを殺してしまったのです。八左衛門はふみの亡骸を自分の家の庭に埋め、ふみの両親には「家出をした」という嘘の知らせをしました。ふみの両親は慌てて近江からやって来て、八左衛門に謝り、ふみの行方を捜し回りました。そんな時に、両親は道行く人から、ふみはよく草堂で子守りをしていたことを聞き、草堂の観音様に「どうか、ふみの居所をお教え下さい」と拝み、そのままお堂に泊まることにしました。

### 両親の前に現れた、ふみの幽霊

その夜中のことです。お堂で寝ていた両親は、何かが居るような気配で目を覚ましました。暗闇に目を凝らすと、お堂の隅にふみが立っていたのです。両親は「ふみ！」と呼びかけようとしたのですが、2人とも声になりません。それに、体も痺れて動かすこともできませんでした。すると、ふみがすーと近寄ってきて、「おとう、おかあ。わたしはもうこの世にいないの。わたしはご主人さまに殺されて、庭に埋められている。ここは寒くて、暗くて…。どうか掘り出して、供養して欲しい…」と言うと、ふみは暗闇に消えていったのです。そして、ふみが立っていた所には、母親がふみに持たせた手鏡がそつと置かれていたのです。

夜が明けるとともに、両親は奉行所に駆け込み、ふみの亡骸を掘り出して、ねんごろに葬りました。そして、不憫な娘の供養の意味で、ふみの子守りをしている姿を杉板に描き、絵馬として、ふみが大好きだった草堂に奉納したのです。因みに悪行がバレた八左衛門は、死罪になったとか、流罪の後、出家したとか…。

### 悲話を語り継ぐ「幽霊絵馬」

「幽霊絵馬」は毎年、六地藏巡りの頃(8月22～24日あたり)に合わせて行われる「幽霊絵馬供養」の際に一般公開されます。ふみが大切にしていた手鏡は、その絵馬の裏側にはめられているそうです。これからも幽霊絵馬は、幼い女の子の悲話を後世に語り継いでいくことでしょう。



行願寺の鐘は第二次世界大戦の折り国に供出され、現在の鐘は戦後27年余を経て鑄造されたものだと、梵鐘の池の間に「建立の由来」が記されています。



# 東寺

京都のシンボルとして、よく出てくるのが、  
東寺さんの五重の塔。

東寺の広い境内の中、  
毘沙門様がおられるのは、毘沙門堂です。

東寺は、南東に有料区域がありますが、  
毘沙門堂は、西側、御影堂(みえどう)の  
南側です。

「都七福神」の、のぼりを目印にしてくださいね！

そして、七福神の御朱印は、拝観受付の  
北側にある食堂(じきどう)でもらいます。

## 【東寺】

京都市南区九条町1

075-691-3325

[HTTP://WWW.TOJI.OR.JP/](http://www.toji.or.jp/)

